

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22228005	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	モノネガウイルス感染による宿主細胞応答ネットワークの解析	研究代表者 (所属・職)	甲斐 知恵子 (東京大学・医科学研究所・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>本研究はウイルスの病原性を、宿主細胞の反応から明らかにすることを試みた研究で、病原性の強いモノネガウイルスを研究対象とし、ウイルスを遺伝子的に改変して細胞応答への影響を解析するなど先進的な解析を合わせて行っている。転写産物の網羅的解析によって、細胞種によってウイルス感染による遺伝子の活性化パターンの異なることや、感染後しばらくして転写の広範な <b>down regulation</b> の起こる過程に関わる主要遺伝子を明らかにしたことなど得られた知見も多く、公表も積極的に行われている。当初計画が着実に進んでいることを窺わせる。今後、観察された転写の変化をどう一般化するか、細胞種で異なることの生物学的意味についても明らかにされることが望まれる。</p>	